

路地百選推薦書【No. 215】

推薦者氏名：鈴木 隆男

推薦する路地（のまち）の名称	笠間稲荷の路地
所在地	茨城県笠間市笠間 1

【推薦する理由（路地のよいところ）】

JR水戸線笠間駅を降り、北に向かい歩いて 20 分ぐらい笠間神社の門前町の商店街に行きつく、観光客と参拝客でにぎわう商店街である。ほとんどの客は、観光バスで来ているため、JR の駅は閑散としていた。日本三大稲荷の一つ笠間稲荷神社、笠間城の城下町、笠間焼の生産地として知られ多くの観光客で賑わう。その参道の両側にへばりつくかのように仲見世の路地が 50 メートルほど商店街の通りから伸びている。笠間稲荷神社と共に生きてきた商人たちによって造られた仲見世の路地である。

【写真添付】



上：笠間神社の参道
右下と左上：仲見世の入り口
左：生垣で区切られた参道
右上：仲見世の路地



路地	面積	約 h a	路地の延長	約 100m
の 成り立 まち、 特色等 の 概要	<p>笠間稲荷神社は、第 36 代孝徳天皇の時代、1350 余年前に創建された。鎌倉時代以来歴代の領主の信仰が篤く、江戸時代も歴代藩主の祈願所と定めて社地社殿の拡張に努めた。</p> <p>合併により旧笠間市よりも人口が多く、地理的にも中央に位置する旧友部町に新制笠間市の本庁舎が置かれたが、笠間稲荷神社には年間 350 万人もの参拝客が訪れており、稲荷神社の門前町は大勢の参拝客や観光客で賑わいをみせている。古くから栄えてきた笠間稲荷門前町の発展と共に「笠間芸妓」の歴史があり、笠間稲荷門前町の周辺には多くの料亭や旅館が存在している。</p>			

路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。